

2026 年 10 月 13 日

昭和産業株式会社

J2 いわき FC ホームゲーム

『アルプスアルパインプレゼンツマッチ～海ごみゼロ DAY～』に協力
～ 穀物由来の非食品用途バイオマスを使用したごみ袋「大地の^{みのり}Mino-Re:」を配布 ～

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、2018 年よりビジネスパートナーとしていわき FC を応援しています。

このたび、2026 年 10 月 18 日（日）に開催される 2026/27 明治安田 J2 リーグ 第 11 節 ヴァンフォーレ甲府戦「アルプスアルパインプレゼンツマッチ～海ごみゼロ DAY～」において、当社は、穀物由来の非食品用途バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」（^{だいちのみのり}）の配布および、海ごみチャリティー抽選会への景品提供（家庭用商品詰め合わせ）を通じて、本イベントに協力しますので、お知らせします。



ごみ拾いウォーキング（過去の実施）

■イベント内容

"スポ GOMI ワールドカップ 福島 STAGE"を開催（事前申込制・締切済）

ごみ拾いを競技化した日本発祥のスポーツで海洋ごみ削減に取り組もう！

・日時：10 月 18 日（日）8:00～10:30

・場所：薄磯海水浴場

・参加費：無料（事前申込制）

※詳細は、いわき FC 公式サイトをご確認ください。

<https://iwakifc.com/2026/09/18/matchpartner1018/>

■対象試合

いわき FC vs ヴァンフォーレ甲府

■日時

10 月 18 日（日）13:03 キックオフ

■試合会場

ハワイアンズスタジアムいわき

（〒972-8311 福島県いわき市常磐水野谷町竜ヶ沢 308）

<バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」について>

「大地の Mino-Re:」は、原料の一部に穀物由来の非食品用途のバイオマスを使用することにより、石油由来プラスチックの使用量を削減し、二酸化炭素（CO₂）排出を抑えた設計となっています。

製品化にあたっては、千葉県船橋市役所などで実証実験を行うとともに、ごみ袋に適したバイオマスの配合検討などを重ね、2022 年 6 月に発売を開始しました。「大地の Mino-Re:」という商品名には、大地で育った穀物から得られるバイオマスがごみ袋として活用され、その後も資源が循環して再び植物が実るように、との想いを込めています。

※本製品は株式会社バイオポリ上越（本社：新潟県上越市、代表取締役 武田豊樹）との共同開発によるものです。



「大地の Mino-Re:」イメージ

「大地の Mino-Re:」の商品特長

1. 原料の一部に非食品用途のバイオマスを使用

- ➡ 石油由来プラスチックの使用量を約 **20%削減**
- ➡ 焼却時の CO₂排出量を約 **20%削減**

当社の取り扱う穀物(小麦、トウモロコシ)由来の非食品用途バイオマスを配合しております。

2. ライフサイクルにおける CO₂排出量を約 **10%削減※**

製品のライフサイクル全体(原料調達、製造、流通、使用、廃棄など一連の過程)で CO₂排出量が削減できることを確認しております。

※石油由来ポリエチレン 100%品との比較

3. 植物素材由来の香りがあり、ラフな質感で手になじみやすい

植物素材由来の細かな凹凸があり、見た目や香りでバイオマスを感じられる仕上がりです。

<関連情報>

- ・環境への取り組み

<https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/environment/>

- ・バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」発売のお知らせ（2022 年 6 月 16 日リリース）

<https://www.showa-sangyo.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=MTkhY0nfDT8%3d&tabid=442&mid=1149>

以 上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL : 03-3257-2042 担当 関口